

DOYU

あおもり

2022 Dec

12

vol.259

代表取締役社長 花田 仁 氏



- 02 共同求人特集
- 04 経営研究集会開催報告
- 05 会員企業紹介
- 09 委員会活動報告
- 11 共に生きる障がい者問題委員会コラム
- 12 新会員紹介／編集後記

共同求人特集

「採用活動は地域を守ること」

共同求人委員長

鈴木建設工業（株）代表取締役社長

花田 仁 氏

日本の企業の99.7%が中小零細企業であり、雇用人口の70%を占めています。中小企業は地域経済の担い手であり、企業の発展なしに地域や国の発展はありません。青森県中小企業家同友会は、良い会社をつくろう、良い経営者になろう、良い経営環境をつくろうという三つの目的を掲げ、三位一体の企業づくりとして、経営指針書の成文化、社員共育、共同求人活動に取り組んでいます。

鈴木建設工業（株）は1968年設立、



2018年に創立50周年を迎えました。米軍工事を中心に、土木建築工事業を営んでいます。30年程前に職員の退職が相次ぎ、業績が大幅に落ち込んだ時期がありました。受注を増やしてカバーしようとしたものの、現場を担当する肝心の人材がおりず、パッチワーク的人事で中途採用を繰り返しました。足りなければ採用するという、ツギハギ採用です。しかしそういった人材は結局社内ではじめない部分もあって、再び退職してしまったりと大変苦労しました。

そんな中、2001年に先代の社長が同友会に入会し、経営指針を創る会を受講しました。私自身も8期生として受講し、採用、共育、経営指針書の必要性を学び、その後4代目の社長に就任することになりました。当時は新卒を採用してもすぐに辞めてしまったり、中間層が少なかったりといった課題に悩み、同友会の市村前事務局長に相談したところ、共同求人委員会を立ち上げて活動する事になりました。とは言っても「共同求人とはなんぞや？」というところからのスタートです。手始めに宮城同友会の合同求人説明会を見学に行きました（2011年）。

同友会が主催し、大学生に向けて自社PRをしたり、中小企業の位置づけの講話をしたりする様子を見学し、刺激を受けました。35社が参加



高校での企業PRイベント

し、若い方が中心となつて計画・準備・運営をしていました。自社PRをするためには、給与体系、休日、労働時間、福利厚生などがしっかりしていなければならないと感じ、戻ってすぐに就業規則の見直しに取り掛かったのを憶えています。

2012年から本格的に委員会活動が始まりました。県内の大学を廻つてのヒアリング、就職担当者との懇談会、支部単位での高校との懇談会も行い、同友会を知ってもらう良い機会となりました。2015年から求人企業情報冊子「WING（ウィング）」を発行し、県内の高校を中心に配布活動を行っています。最初は掲載企業が30社程でしたが今

青森県知事許可（般-24）第100121号
Oct, 有限会社 オクト

〒030-0852 青森市大字大野字鳴滝87-14
TEL:017-762-5223 FAX:017-762-5224

■内装仕上工事（経鉄・ボード・床・クロス）■タイル・石工事■ビル・住宅リフォーム工事

私たちは、夢と安らぎのある生活空間創りをもって
地域に貢献します。



鈴木建設工業株式会社

〒033-0062 三沢市新町三丁目31番地2201

tel. 0176-53-3078 fax. 0176-53-9800 suzukikensetsu.co.jp



高校生向け企業見学ツアー



高校との懇談会

年度（2022年度）は67社にまで増えました。また、対外的な活動の一つとして、地元高校の学校祭に出席し、生徒の親御さんからも「地元こういう会社があるのですね」というお言葉をいただいたりもしました。

「採用に勝る共育はない」とは赤石義博氏（元・中同協会会長、故人）の言葉ですが、若い社員さんを採用するにあたっては、誰が採用窓口の担当になるかがとても重要だと感じています。「人を採る」ということだけではなく、「自社に関心を持ってもらい、（入社したい）」と思ってもらうことが大切です。そのためには自社の強みを考えたり、歴史を調べ直したり、と自社を知り、理解を深めることが必要になります。そうした取り組みを自社の若手社員さんに担当してもらうのです。そうして、自社の歴史や強みを理解した若手社員さんは自社にとって大きな財産になります。新入社員のメンターとしてすぐ上の先輩として関わることで成長につながります。

共同求人活動は中小企業が維持・発展していくために欠かせない活動であることはもちろん、地元に残っている人が残っていくことで地域全体の維持・発展につながっていきます。若い人たちが地域に残って働くことで、企業と地域が元気になっていきます。この好循環ではじめに挙



記：木村 美栄子

成）

共同求人活動は中小企業が維持・発展していくために欠かせない活動であることはもちろん、地元に残っている人が残っていくことで地域全体の維持・発展につながっていきます。若い人たちが地域に残って働くことで、企業と地域が元気になっていきます。この好循環ではじめに挙

大切で。最近では面接に訪れた高校生が「WINGで会社の記事を見ました」と言ってくれたという、嬉しい知らせも増えてきました。ぜひ、今後のWINGへの掲載を各社に検討していただきたいものです。

共同求人活動は中小企業が維持・発展していくために欠かせない活動であることはもちろん、地元に残っている人が残っていくことで地域全体の維持・発展につながっていきます。若い人たちが地域に残って働くことで、企業と地域が元気になっていきます。この好循環ではじめに挙



歴代WING画像

げた「よい会社、よい経営者、よい経営環境」づくりが進んでいくと良いと思います。

共同求人委員会では今年もWING（ウイング）2023年度版の発行準備を進めています。採用も求人活動もやり続けることが



お試し入店スマホアプリ
ぶらりん@タウン
Burarin

お問合せ

株式会社サン・コンピュータ

Web <http://www.sancom.co.jp/> TEL 0178-21-1255

気になっていたお店や
行ったことのないお店で
「ぶらりんセット」を
頼んで、お試し体験！

まずは
ホームページを
チェック！



経営研究集会開催報告

基調報告

「みんなで拓こう、子どもたちの未来～社会的養護で暮らす子どもたちの応援団とは～」

日祥化工（株）代表取締役 前川 順 氏（京都同友会）



前川 順 氏



討論風景

第1分科会
「二人ひとりが尊重される社会へ
地域の課題から目を背けない。
京都同友会の取り組みから学ぶ」
日祥化工（株）代表取締役
前川 順 氏（京都同友会）



会場の様子



前川 順 氏



鳴原 健太郎 氏



討論風景

第3分科会
「同友会活動と企業経営は
不離一体」
光栄電気通信工業（株）代表取締役
鳴原 健太郎 氏（福島同友会）



工藤 英洋 氏



討論風景

第2分科会
「本業の洗練で見えた活路
「いま食べたい、また食べたい
お豆腐づくり」
日乃出食品（株）代表取締役
工藤 英洋 氏（北海道同友会）



3年ぶりに開かれた懇親会風景

3年ぶりに開かれた懇親会風景
うございました。と
ぞ！
す、皆さんもどう
やります。実行委員長
の参加を歓迎します。
県の大きな行事へ
会が来ます。全
来年には新春例
でありたいと思
で、興味のあること
聞いてみたい事
ドンできる同友会
ました。

10月12日に開催されました、経営研
究集会は無事92名の会員が参加され、感
謝申し上げます。
青森支部の皆さんとタッグを組んで
問題は、各支部また全県委員会や部会
の在り方を見つめ直すいい機会になっ
たように思っております。
青森支部の「スローガン」の「共にひら
く未来へ」仲間と手を取り合い、会社
と地域がもっと元気になる活動をして
まいりました。そして、今回の経営研
究集会の「みんなで拓こう、子供たち
の未来」と題し、京都同友会の前川さ
ん、北海道同友会の工藤さん、福島同
友会の鳴原さんと他県の皆様を報告者
として迎えることが出来たことは、実
行委員会、各支部や全県委員会、部会
そして何より全県委員の皆様のご協力
がなければできませんでした。「一喜一
勇」一つの喜びが、一つの勇気へ一歩
踏み出せたと思っております。経営を研
究する集会です。興味のあること、
やってみよう、聞いてみたい事、



（有）ローズリー資源
代表取締役
田中 桂子 氏

**実行委員長
挨拶**

A-SETU
青森設備工業株式会社

水の問題、
迅速解決!!

もう、水まわりの心配はさせません。
☎017-766-2421

有限会社 ローズリー資源 <http://www.rozure.com/>

廃棄物業・総合リサイクル業

本社/〒030-0955 青森県青森市大字駒込字深沢5-303
TEL 017-744-0575, FAX 017-744-0579

南部支店/〒039-1524 青森県三戸郡五戸町大字豊内字地蔵平1-578
TEL 0178-38-9294, FAX 0178-38-9295

会員企業紹介

東京生まれ東京育ちの私が 八戸でりんご作り！

岩館りんご園

岩 館 岳 さん

〒031-0023 八戸市是川新田 14-11
電話：0178-96-1973
ホームページ：http://www.appleiwadate.com/



どんな農園ですか？

八戸市の市街地から車で10分程のところにあり、80年以上続くりんご園です。代表を務める母と私、姉の3人で運営しています。

特色としては、香りや味に特徴のあるものから大きさに特徴のあるものなど30〜40種類の品種を栽培し、現在では市場に出回らなくなった古い品種から最新の品種まで、品種保護や研究のために園内で育てています。現在は地元・八戸から東京都内まで様々な飲食店で使って頂いています。

創業のきっかけは？

昭和10年、初代の祖父・岩館義博が青森県の風土に合う作物として現在の地でりんご栽培を始めました。

海外に「1日1個のりんごで医者いらず」という諺があるように、1日1個食べてもらうためにはどうしたらよいか試行錯誤。見た目の良さや大きさではなく「1回で食べ切れるサイズであること」そして何より「美味しいこと」を信念とし、栽培方法の改良や既存の考え方からの脱却で、全国で初めて園内の一面牧草化や、早い段階から完全無袋栽培や葉取らず栽培など、りんごという植物本来の育ち方を活かした健康的な生育のための栽培方法を積極的に取り入れてきました。現在もその信念を守り「おいしいりんごは健康な木

から育つ」をモットーに自然の恵みを凝縮した栄養豊かなりんご作りにこだわっています。

私がりんご作りを 始めた経緯

小さい頃から「お前がこの農園を継ぐんだぞ」と姉や周りの人から言われ悩んだ時期もありましたが、成長するに従って自分の周りにもいる「家業を継ぐ」ということに取り組んでいる人と出会ったり、人格が形成されたりする中で徐々に意識も変わっていききました。高校生の時には「いずれはこの農園を自分がやりたい」と口に出すようになっていました。「いずれ」と言っても具体的に40代を目標にして、それまでの間は東京でいろいろな経験を積んでおこうと思うようになりました。家族からの後押しがあつてカナダへ留学



広告物製作施工

株式会社エーアンドエム

〒031-0823 青森県八戸市湊高台3丁目3-3
TEL0178-35-0789 FAX0178-35-0788

ニッポンの窓をよくしたい



MADOショップ 八戸青葉店



MADO ショップは、納得できる
窓リフォームのお店です。

株式会社 幾久屋

〒031-0804 青森県八戸市青葉三丁目32-17
TEL 0178-43-1192 FAX 0178-43-1104





したり、東京五輪が決定したタイミングで料理人を目指したりといういろいろな挑戦している最中でした。しかし、その5年ほど前から高齢の祖父から農園を引き継ぐために東京の鉄道会社を54歳で早期退職し帰郷していた父に病気が発覚。それをきっかけに自分が予定していた時期とは違う23歳で母と一緒に八戸へ来ることになりました。

祖父はこの農園を東京でサラリーマンをしていた息子（父）に引き継ぐ考えは無かったようで、最盛期には500本あった果樹木を70本ほどにまで減らしていました。

父の代になり新たな品種をテストしたりして、70本まで減った樹木を少しずつ増やしてきましたが、父もまた息子の私に農園を引き継ぐという気はなく、徐々に縮小・閉鎖を考えていたため積極的に売り込むことはしておらず、父が亡くなるまでの10年間はずっと赤字。ただ、以前祖父が農園を縮小する際に不動産業もはじめていて、父の代では不動産部門を立て直してく

れていました。農園を閉めても生活できるように考えてくれていたのかもしれない。天候に左右されやすい農園業の他に収入を安定させる事業を残してくれた事に感謝しています。

現在は、新規のお客様を開拓するなど積極的に売り込む努力をし、甘いものや酸っぱいものなど、りんごの特性ごとにファンがつき、ほぼ100%直接販売で出荷しています。

祖父や父が閉めようとしていたこのりんご園ですが、長年にわたり応援してくれたお客様や地域の方々、母の為に継続させていく事にやりがいを感じています。

今後の展望は？

ここでも、ここ以外でもやりたいことが沢山あります。父も珍しいりんごを作ったりしていました。積極的に売れているわけではなく、周りから見れば商売というより趣味・道楽に見えていたかもしれません。でも珍しいりんごは珍しいりんごとして売れる仕組みを作っていくことが自分の役割だと思っています。実際、今年は雹害がありました。値落ちせずに売れています。もっと面白いらんごを作っていきたいし、もっと美味しいりんごを作ることできると思っています。確かに気候



変動問題などで育てる難易度は上がっていくでしょうが、やりがいがあると感じています。今後、果樹木を300本まで増やすのが目標です。

うちの農園は、生産・出荷だけをするりんご農家ではなく、りんごの育成・研究・栽培・販売の全てを含めた「りんご屋さん」と思っています。よく地域のりんご農家さんや個人的に育てている方からの相談を受けます。それには祖父の代から蓄積してきた知識・技術でお答えします。このような地域のりんごに関することでの駆け込み寺としての機能を持つだけではなく、子供たちへの講話や体験、農家主体のマルシェへの参加など八戸の未来につながる活動にも力を入れていくことで地域や業界に貢献できたら嬉しいです。



記・高橋 利典

屋根・外壁・リフォーム工事 板金工事の専門会社です。



〒039-1161 八戸市大字河原木字北沼22-17 TEL 0178-29-1855 FAX 0178-29-1833



有限会社 工藤板金工業

会員企業紹介

【楽しい所に人は集まる！】
～社員さんと共に育つ企業づくり～

株式会社木村タイル工業

代表取締役 **木村 稔** さん

〒030-0811 青森市青柳2丁目6-24
電話：017-764-6301
ホームページ：http://kimuratile.com/

(株)木村タイル工業は1950年創業、各種タイル工事・石・レンガ工事・インターロッキング工事・外溝工事・左官工事を手掛け、現在三代目の経営者であります木村稔さんにお話を伺いました。



自社について

当社では18歳から75歳までの18名が在籍しています。私自身は青森市内の高校を卒業後、県外の大学へ進学した後に陶器タイルメーカーの専門学校を経て、22歳で入社しました。当時は職人として働き、27歳で結婚するまでは働くことの意味について考えることもありませんでした。ただ、当時は先輩が入社してきてもうすぐ辞めていってしまうことに不思議さを感じていました。

大きな転機が訪れたのは2008年のことです。父が体調を崩し入院、その後、売上の半分を占めていた取引先が倒産するなど、事業所としてギリギリのところまで追い詰められました。出来ることはなんでもやり、この危機を乗り越えることが出来ました。このころから徐々に私の中で経営者としての意識が芽生え、色々なことに挑戦するようになります。その中で2015年に第14期経営指針を創る会を受講し、経営指針書を活用した企業づくりに取り組むようになりました。その中で若手担い手の育成の必要性を強く感じるようになっていきました。

最大の課題は若手の

担い手不足



創業から70年以上が経ち、2014年に私が三代目として経営を引き継ぎました。当初から社員さんと共にものづくりを楽しみたいと考え、どうすれば目指す姿に近づけるかを悩ませていました。はじめは最大の課題だった若手担い手不足の解消に着手しました。建設業でタイル工といえば重たい材料を運んだり、タイルから出る埃にまみれたりといったネガティブなイメージが強いと思います。そうした労働環境の改善はもちろんですが、私はタイル工事業の楽しさを伝えることが大切だと考えました。新たにタイル工事

- モニュメント
- デザイン
- ネオン
- サイン

ART DESIGN

株式会社

アイサイン

Call 0172-62-5508 Fax 62-5516

Office 〒038-1331 青森市浪岡女鹿沢西花岡82-1
URL http://www.ai-sign.com MAIL aesign@infoaomori.ne.jp



私たちはエネルギーを追求し、くらしのゆとりを育てる企業を目指します。

ササキ石油販売株式会社

本社：十和田市大字奥瀬字小沢口425-3
☎0176-72-2026(代) sasaki-gs.com

十和田湖町CS (0176-72-2026) A.M.1CS (0176-25-2311)
車検・東北運輸局認証自動車整備工場・LPガス・灯油・重軽油
各種住宅設備機器・水道設備工事・太陽光発電システム

会員企業紹介



の組合を立ち上げ、若手の担い手をどうやって業界全体で育成し、タイル業の楽しさを伝えていくかを議論する場所を作りました。そこから出たアイディアを形にして、地元工業高校でのタイル貼り体験授業など様々な取り組みを実践しています。タイル貼り体験は今年で6年目を迎えました。自社では体験授業の成果が実り、2021年から連続で工業高校から新卒で採用することができました。さらに採用活動は新卒だけでなく、既卒者の採用にも力を入れています。こちらはホーム

ページからの発信に力を入れ、更新を積極的に行うなど、採用に特化したページ構成等、U-I-Tターン採用も出来てきています。

中途採用や若手現場社員からは「やった分だけ上達し、面白みが増すやりがいいのある仕事」「色々な種類のタイルが貼れて楽しい」「面白い職人さんが多い」等々、楽しく現場作業ができる社風になってきている実感湧くようなコメントを貰い、誇りを持って仕事ができているようで嬉しく思います。

採用のその「先」へ

現在も採用は積極的に行っていますが、加えて社員一人ひとりがわが社で働く上での充実感を持ってもらいたいと思います。採用したら、次は育成です。ただ育てるのではなく、教えたり教わったりする双方が育ち合う「共育」を目指しています。わが社の社業が地域のまちづくりに貢献していること、世の中に必要とされていること、かつこよく仕事ができること、そして社員が安心して定年を迎えられる企業になること。経営者としてやらねばならないことは山のようにありますが、社員さんたちと向き合って、一人ひとりの全てにおいての成長のためには何が必要

要なのかを考え、支援していきたいと思っています。

人材育成は難しく困難なことも多いですが、人間性を高める努力は不断であると思います。そのために、まず経営者の私自身が魅力的であること、自信に満ち溢れ、楽しく仕事に取り組むことが大事だと思います。

【夢】の実現の為に

社員と社員の家族が誇りに思えるような企業を作ることが木村タイル工業の未来をつくると考えています。その為には、社員共育、社内環境整備、福利厚生、待遇改善、資格取得、技術の向上など、ひとつ一つのことを丁寧に実践し、互いに認めあえる関係と環境づくりに取り組み、モチベーションと利益の向上につなげていくことで「安心して暮らせる美しいまちづくりと世の中に必要とされるカッコいい会社」を共に築き上げたいと思います。



記…鹿内 史芳



もっと素敵に環境創造



総合建設業
株式会社

大坂組

〒030-0933

青森市大字諏訪沢字岩田51-1

電話 (017) 726-2461

FAX (017) 726-7009

運輸部 (017) 726-7007

委員会活動紹介

経営指針委員会

委員長 附 田 久 志
(株)青北建設・代表取締役社長

上半期の経営指針委員会の活動は経営指針を創る会のサポートのみとなりました。

指針策定を会員に周知していく事業は、沖縄での中同協総会に自ら参加し、企業変革支援プログラム Version2 の発表と支援プログラムの有効性を確認してまいりました。苦労して創った指針書の運用が止まってしまいう会員さんがいらつしやることに危惧していたところでの支援プログラムの発表は今後の委員会活動の道標となる可能性が高いと判断し、10月20日発売を待ちその後の活動を計画しているところです。



共同求人委員会

委員長 花 田 仁
鈴木建設工業(株)・代表取締役社長

「Wing2023」は掲載企業67社で高校・大学へ配布、また「Wing2024」も23年明けの発行を予定しており現在進行中です。また、インターシップ受け入れ、オンラインでの企業説明会など次年度に継続する予定です。

委員会活動の目的である「人づくり・企業づくり・地域づくり」は、同友会の三つの目的「良い会社を目指す・良い経営者を目指す・良い経営環境をつくる」そのものです。

「人を探る」から「人を育てる」企業を目指すことは社内に共育ちの文化が醸成されるのではないでしょうか。

「選ばれる企業」とは顧客そして求職者に選ばれる企業でなければなりません。そのための活動を引き続き進めていきたいと考えています。

社員共育委員会

委員長 佐々木 佳 弘
ササキ石油販売(株)・代表取締役社長

9月14日『2022女性社員キャリアデザイン研修会』と称し、女性社員さんのためのワークライフスタイル応援セミナーを開催しました。

講師は、八戸在住のマナー講師・石岡知華氏と男女共同参画地域みらいねっとの代表理事・小山内世喜子氏。両者ともに多くの困難を乗り越えて第一線でご活躍されている方であり、参加者レポートには「とても刺激になった!」「自分の生き方を考える時間になった」といった感想がみられました。自分らしく生きる為に自立する。研修全体を通して、性別関係なく人生を幸せに生きる為に必要なスキル・考え方を学べた一日だったと思います。

社員教育・共育の悩みはありませんか?この研修会は委員会メンバーからの提案で開催に至りました。自社が抱える諸課題は、実は他社と同じ悩みを抱えていたり、既に解決方法を実践している会員企業があるかもしれません。お悩みの方はぜひ社員共育委員会にご相談ください。

共に生きる 障がい者問題委員会

委員 今 村 健
(福)義栄会月見野作業所・管理者

「わかる・つながる障害者雇用」シリーズセミナー

10月21日(金)アピオあおもりで開催された内容として、「障がい者雇用に向けて必要になる準備とは」と題して、前段で青森労働局の中川氏から歴史を含めた雇用状況の説明の後、(社)青森県すこやか福祉事業団常務理事須藤氏から、障害者就業・生活支援センターの機能や雇用率、障がい者雇用に関する企業側の悩み、実習を受けるメリットや実際に企業用に作成した「作業手順書」のサンプルや切り出しの作業例と動画を見て具体的な雇用のイメージづくりと「まずは実習を」というメッセージ。後半はグループ討議で、建設業の解体作業での聴覚障害者の雇用や不動産業での清掃作業での受け入れの検討も見られ、2回目以降にちながる回となりました。



委員会活動紹介

広報委員会

委員長 大和 英 樹
(株)マルヤマ・代表取締役

広報委員会は、9月22日に青森市の焼肉きんぎょにて委員会を開催しました。委員会の内容はDOYUあおもり12月号の紙面構成についてと、それに伴う執筆担当と取材担当を決めました。特集記事に関しては年間でスケジュールを組んでおり12月号は予定通り共同求人委員会特集で決定しました。取材活動については企業紹介で八戸支部の岩館りんご園の岩館 岳さんと青森支部の(株)木村タイル工業の木村 稔さんの取材を行い、仕事に対する想いや取り組み、今後の展望等のお話を聞かせて頂きました。次号委員会版DOYUあおもり3月号は女性部会特集号の予定です。



女性部会

部会長 岩 木 節 子
(有)岩木建設・専務取締役

『桑田ミサオさんを訪ねて』

9月の全県例会はNHKの「プロフェッショナルく仕事の流儀」で紹介された現在95歳の桑田ミサオさんを訪ねる見学会でした。75歳で起業し、現在も無添加で美味しい笹餅を作り続けています。現在の加工場と最初の加工場を見学した後は金木商工会で報告会。幼少期から今日までの生き様は母親から訓えられたこと、探求心があり解らないことは必ず訊く、相手への気配り等深い話は、オンラインを含め16名の参加者に涙あり笑顔ありの貴重な学びになりました。



配り等深い話は、オンラインを含め16名の参加者に涙あり笑顔ありの貴重な学びになりました。

青年部会

部会長 觸 澤 篤 司
(株)アイティコワーク・代表取締役

青年部会とは、全国と全県の交流行事を中心に活動しました。9月15日から兵庫県で開催された青年経営者全国交流会へ、経営指針を創る会の受講者を中心に事務局含め11名で参加しました。県外ならではの熱気と、様々な意味での危機感を感じられる良い機会でした。来年は広島で9月14日から2日間の日程で開催されます。是非たくさん仲間に参加して全国の熱気を感じたいと思います。

9月30日には上十三支部との合同例会を、宮城同友会から報告者を招いて開催しました。人材育成の報告は聞く機会が多いのですが、人材を迎える立場の備えとしての報告は目新しくとても良い学びとなりました。また、宮城同友会からも多くの方が駆け付け良い交流となったと同時に、他県のアクティブさが感じられました。

10月12日には経営研究集会の第3分科会を青年部会の設営で行いました。福島同友会から光栄電気通信工業(株)の嶋原健太郎社長を招き「同友会活動と企業経営は不離一体」と題して報告頂きました。同年代の若手経営者には大きな学びと刺激だったのではないかと思います。

青年部会では、今後も他県交流を積極的に行いながら、幅広く活動したいと思います。



〒036-0114 青森県平川市町居南田170-6
TEL 0172-44-2160 FAX 0172-44-2306
<http://www.jinpachi.co.jp/>



～共に生きる障がい者問題委員会コラム～

「障がい者雇用が進まない理由 PART-1」

株式会社A-Run(就労移行支援サービス事業) 代表取締役 齋藤 康生

障がい者雇用をするにあたり最初のハードルとなるのが、障がい者に対するイメージではないでしょうか？よく「障がい者に何ができるの？」と見下した物言いを耳にします。本当に何もできないのでしょうか!?

読者の皆様は、就労移行支援サービスって、聞いたことありますか？

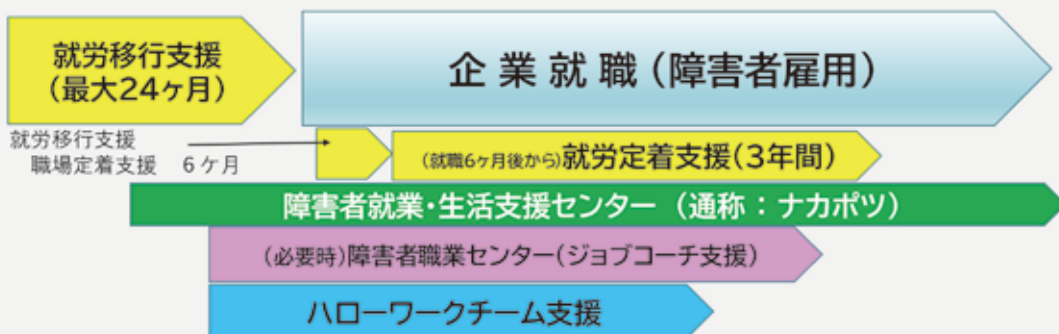
就労継続支援 A 型や B 型は耳にしている、就労移行支援サービスはご存じないかもしれません。これらは障がいをもたない一般枠の就職（就労）に対し、福祉就労（障がい者就労支援サービス）に属する支援サービスになります。なかでも就労移行支援サービスは、一般の企業への就職支援を前提にした福祉事業であり、企業での障がい者雇用が一番近いものになります。

私はこれまで就労移行支援事業において、数多く障がいをもつ方々を一般企業へ就職していただく支援に携わってきました。

就労移行支援サービスに辿り着いた方々の中には、家族を含めた周囲関係者から、“就職は無理”…などと言われてきた人もいます。彼らに適切な支援を行い、環境を整えることで一般企業へ就職し定着することだって可能なのです。就労移行支援サービスなどで基礎訓練を受け、マッチング実習を終えた方々は、「できない人」ではなく、企業側の配慮があれば、「戦力になれる人」なのです。

障がい者雇用について企業が抱えてしまうことは、現場担当者にとっては暗中模索で厄介な試練だと思います。そんな中、就労移行支援サービス事業所が関係機関の支援コーディネートを行いながら、現場担当者のお手伝いを無償で受けられるのは、企業にとっても障がいをもつご本人にとっても長く働き続けるための糧となるのではないのでしょうか。

就労移行支援サービスを利用した就職と定着



企業を含めた関係機関各所との連携を、就労移行支援事業所がコーディネート。対象者の個別的なことや就業に係る情報を企業と共有することで、定着率が高い。

産業廃棄物収集運搬・処分業
建築・土木・管工事業



青森県上北郡東北町字柳沢59番地21

東管工業株式会社

代表取締役 蛸沢 宮行

TEL 0175-63-4450

FAX 0175-63-4467

Welcome to DOYU!

新会員紹介



【上十三支部】
(株)コンフォーティア
代表取締役
工藤 竜也

地域社会に貢献し、認められる会社になるよう努めます。

〒034-0035 十和田市東十六番町 52-17
TEL:0176-27-6804 FAX:0176-27-6805
URL:<https://kudo-hoken.jp/>



【青森支部】
(有)渋谷種苗店
取締役専務
渋谷 扶美子

花や野菜の種子や苗を販売、青森県産野菜の直売所もあります。

〒030-0852 青森市大野字玉島 30-8
TEL:017-729-4545 FAX:017-729-4548
URL:<https://www.shibu-tane.com/>



【八戸支部】
年金ラボ・清野社労士事務所
所長
清野 大輔

社会保険労務士です。年金に強いのが特徴ですが、各種届出や給与計算も業務としています。

〒039-1101 八戸市尻内町前河原 3-4 コーポ小笠原 8 号室
TEL:0178-38-3575
FAX:0178-38-3576



【八戸支部】
農業法人(株)和の郷
代表取締役
坂本 三佳子

田子にんにくの町で六次産業に力を入れています。

〒039-0201 三戸郡田子町大字田子字金八屋敷 19-3
TEL:0179-32-4343 FAX:0179-32-4340
URL:<https://www.aomori-ninniku.jp/>

随時 会員募集中!

*** 編集後記 ***

早いもので今年も残すところ1ヵ月になりましたね。今回のDOYUあおもり12月号は委員会特集第3弾として共同求人委員会にスポットを当てた特集となっております。今回共同求人のお話を詳しく聞かせて頂き、改めて共同求人の重要性を感じる事が出来ました。次号の委員会版DOYUあおもり3月号は女性部会特集の予定です!



有限会社 カワシタ電業

電気工事

消防施設の設計、施工

むつ市中央2丁目21-1

TEL.0175-29-5611

釜臥山展望台からの眺め「アゲハチョウの夜景」